

5 - 10 御前崎, 松崎における全磁力変化 (1980年5月~1984年10月)

Variation of Geomagnetic Total Force at Omaezaki and Matsuzaki for the Period
from May 1980 to October 1984

気象庁地磁気観測所

Kakioka Magnetic Observatory, Japan Meteorological Agency

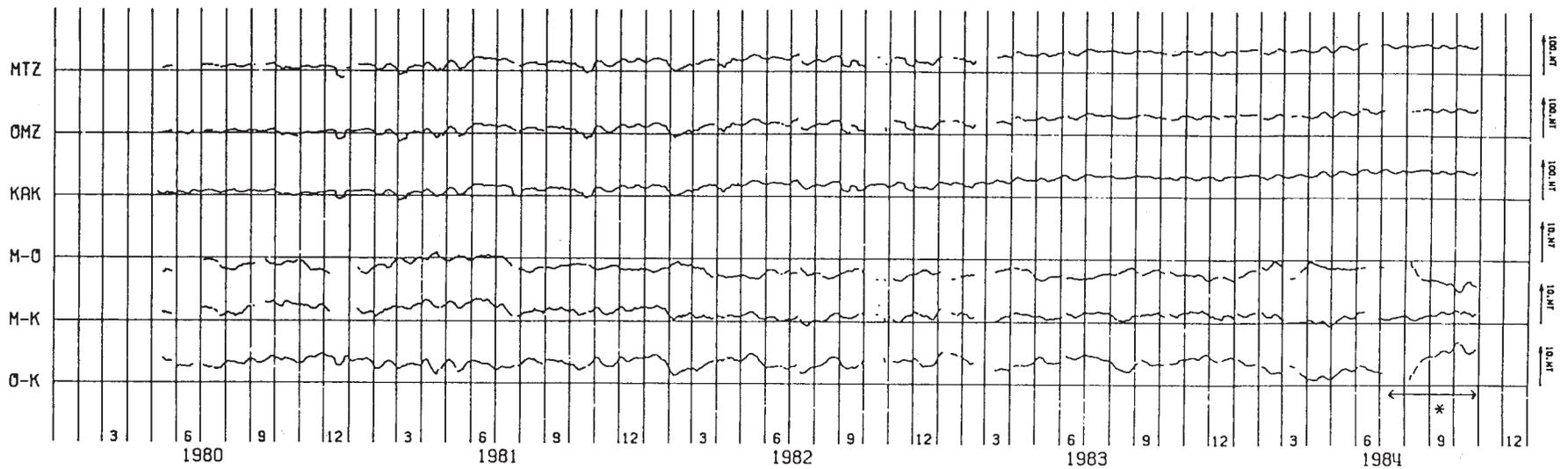
東海地方の松崎と御前崎において1980年5月より地磁気, 地電流の無人観測をおこなっている。第1図に示した夜間値とは日本時間の午前0時より3時までの3時間分の毎分値180個を平均し, さらに11日の移動平均をとったものである。ただし, 欠測, 異常値や磁気嵐のように長期の変化をみるうえで不都合と思われるデータは除かれている。

第1図のデータは松崎, 御前崎, 柿岡の各夜間値と, 各地点相互の夜間値差を示している。下の3つの縦軸のスケールは上の3つの縦軸のスケールの10倍である。

第1図より松崎の全磁力は, はじめ減少していたのが, 1982年の前半あたりから安定し, あるいは増加に転じたようにみうけられる。

御前崎では1984年の8月から大きく変化しているが, これは人工擾乱による可能性が強い。(観測点である白羽小学校の校庭整備の影響と思われる。)この擾乱は現在も続いているように思われるので, 擾乱量の補正は今後の経過を見て行きたい。

御前崎では1983年頃より振幅が約3~4 nTの約半年周期の変化が現れてきたように思われる。(第1図の(M-0)と(O-K)に同程度の変化が現れている)松崎にも振幅は御前崎より小さいが同様の周期変動があるようにみうけられる。今後の推移と, この原因を調査したい。



* Artificial disturbance at OMAEZAKI

第1図 1980年5月より1984年10月の全磁力夜間値変化(11日移動平均)

Fig. 1 11-day running mean values of night time geomagnetic total force at Matsuzaki, Omaezaki, Kakioka and differences of each station for the period from May 1980 to October 1984.